

(株)SRAホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2020年3月期 第1四半期決算を発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

なお、「決算付属資料」、「2019年7月 月次売上高速報」も併せて発表しました。

〔2020年3月期 第1四半期業績(連結) 前年同期比〕

■売上高=増収

■収益=「粗利益」、「営業利益」が増益。「経常利益」、「四半期純利益」は減益

◎売上高: 100億12百万円(2.5%増)

- ・開発事業(4.2%減): 一部のサービス業が減少
- ・運用・構築事業(13.5%増): 企業向けおよび大学向けが増加
- ・販売事業(8.1%増): SRAと海外子会社の機器販売が増加

◎粗利益: 20億84百万円(4.1%増)

◎販売管理費: 12億59百万円(0.3%減)

◎営業利益: 8億24百万円(11.6%増) 営業利益率: 8.2%(前年同期 7.6%)

◎経常利益: 6億74百万円(32.1%減) 経常利益率: 6.7%(前年同期 10.2%)

主な減益要因: 営業外費用(為替差損)の計上

◎四半期純利益: 53百万円(89.3%減)

主な減益要因: 特別損失(投資有価証券評価損)の計上

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/ir>

〔2019年7月 月次売上高〕

(株)SRA=単月、累計で減少。開発事業の受注活動に注力

(株)AIT=単月、累計で減少。引き続き受注活動に注力

国内子会社=堅調に進捗

海外子会社=堅調に進捗

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2019.html

第1四半期の業績は、売上高が前年同期比で2.5%の増収となり、粗利益も利益率向上施策等により増益となりました。

また、2018年度3Qから連結対象としたProxim社の販管費を計上したものの、Cavirin社の販売費等の効率化に努めた結果、販売管理費が減少し、営業利益も増益となりました。経常利益は為替の影響等により減益となり、四半期純利益も特別損失(キャッシュアウトを伴わない一過性の評価損であり、回復するものとする)の計上等により減益となりました。

今後もグループ一丸となり、収益性向上に努め、2019年度計画達成を目指します。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。